

ムナビロヒメフトコメツキダシの雄の形態について

鈴木 互

〒 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科 (elater2003elater@yahoo.co.jp)

Description of the Male of *Bioxylus laticollis* Hisamatsu (Eucnemidae, Melasinae, Xylobiini) from Japan

Wataru SUZUKI

Abstract. *Bioxylus laticollis* Hisamatsu, 1963, was described based on a single female specimen collected from Amami-Ōshima Island, Kagoshima Prefecture, Japan. Recently, I had an opportunity to examine the male of the species taken from the same island. In this short report, the male of *Bioxylus laticollis* Hisamatsu is described and illustrated for the first time.

ムナビロヒメフトコメツキダシ *Bioxylus laticollis* Hisamatsu, 1963 は、奄美大島に生息する前胸背板に特徴のある種であるが、これまで雄について採集例がなく、その形態については明らかにではなかった (Hisamatsu, 1963; 鈴木, 2016)。筆者は、最近お譲りいただいた故江本健一氏のコメツキダマシの中に、雄を含む複数の個体を見いだすことができたので、ここに記録しておきたい。

発表するに当たり、貴重なコレクションを築き上げられた故江本健一氏、そのコレクションの保管を託された、ふじのくに地球環境史ミュージアムの岸本年郎博士に厚くお礼申し上げる。

ムナビロヒメフトコメツキダシ *Bioxylus laticollis* Hisamatsu, 1963 (Figs. 1-6)

Bioxylus laticollis Hisamatsu, 1963: 33-34, Fig. 7 (A-C) (Amami-Ōshima: Hatsuno); Hisamatsu, 1989: 346 (check list: Honshu, Kyushu, Amami-ōshima); Suzuki, 2016: 31-32, Figs. 1, 5-10 (Amami-ōshima: Yuwan); Hatayama, 2018: 224 (list).

形態

♂. 体 4.3 mm; 幅 1.4 mm. 体は黒褐色であるが、頭部は黒色、触角、前胸背板の前縁部、腹部および脚は茶褐色となる。体は円筒形で、ほぼ平行。前胸中央で最大幅となる。背面は黄色い毛で密に被われる。頭部は正中線に沿って顕著な隆起線を備える (Fig. 2)。表面は光沢があるが、針で刺したような明瞭な点刻で被われる。点刻間の距離は、各点刻の直径とほぼ同じかそれより狭い。頭盾は平圧され、前縁は中央で弱く湾入する。触角はやや長く、第9節で前胸後角を越える。第3節 (Fig. 3 上) は最小で、第2節の0.5倍 (Fig. 3), 2節と3節を合わせた長さは4

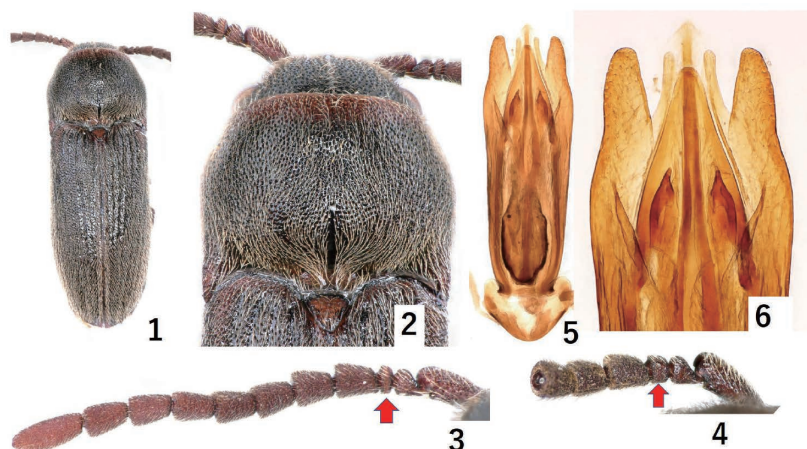
節とほぼ同長。触角の毛は3節までは傾くが、4節以降はほぼ直立。1・2節は光沢があるが、3節以降は艶消しとなる。前胸背板 (Fig. 2) は幅広く、中央長の1.3倍。ドーム状に強く盛り上がり、表面は円～楕円形の点刻で被われる。点刻間は平滑で光沢があり、各点刻の直径より狭い。前胸後角は後方に伸び、その背面は尾根のように隆起する。前胸背板側縁および前角は縁取られる。小循環板は丸みを帯びた逆三角形。表面は点刻を伴うが、滑らかで、強い光沢がある。上翅は基幅の2.1倍。条線は浅いが明瞭。間室の点刻は密。翅端部の陥没は深く、Vの字状。後胸前側板は平行状。腹部第5節末端には、小棘状突起が散在する。

雄交尾器 (Figs. 5-6)。長さは1.0 mm; 幅 0.29 mm。基片は小さく、全長の1/5.5以下。外側の一次側片は外縁が先端手前で強く波曲し、先端に向かって徐々に狭くなるが、先端は広く丸まる。内側の二次側片は発達が弱く、細い棒状となって後方に伸びるが、その先端は一次側片の先端を越えない。

♀. 体長 4.6-5.4 mm; 幅 1.5-1.8 mm。体形、色彩共に雄に似るが、色彩は変化に富み、全体に明るい個体も存在する。触角第3節 (Fig. 4 上) は雄に比べ長く、第2節の約1.6倍 (Fig. 4)。2・3節を合わせた合計は4節と同じかやや長い。

検視標本

1 ♂, "larva (Amami) Higashinakama III. 1964 Coll. K. Kinugasa". 1 ♀, "larva (Amami) Higashinakama III. 1964 Coll. K. Kinugasa"; "Hach at Urawa 1-10 IV 1964". 1 ♀, "larva (Amami) Higashinakama III. 1964 Coll. K. Kinugasa"; "Hach at Urawa 11-20 IV 1964". 3 ♀♀, "Larva Amami-Ist. V. 1966 K. Kinugasa Leg."; "Hach at Urawa 1-10 IV 1967". 1 ♀, "Larva Amami-



Figs. 1-6. ムナビロヒメフトコメツキダシ *Bioxylus laticollis* Hisamatsu. 1, 全形背面 (dorsal habitus), ♂; 2, 頭部と前胸背板 (head and pronotum), ♂; 3, 雄左触角第3節 (3rd segment of left antenna in male); 4, 雌左触角第3節 (3rd segment of left antenna in female); 5-6, (雄交尾器) male genitalia.

Ist. V. 1966 K. Kinugasa Leg.”; “Hach at Urawa 11-20 IV 1967”.

本種の分布について

本種の分布は、ホロタイプの産地である鹿児島県奄美大島以外には、久松 (1989) に「本州」と「九州」が挙げられているが、筆者はこれまでに、これら2地域で採集されたという記録には接していない。畑山 (2018) や鈴木 (2020) のリストにも本種の分布として「本州」と「九州」を挙げているが、これは久松 (1989) の記述に基づいたものだろう。お手元にこれらの地域の個体をお持ちの方は、分布の確認という意味でも、証拠となるデータと共に公表をお願いしたい。

近縁種との比較と識別点

本種が含まれるヒメフトコメツキダシ属は、これまでに日本から8種が知られている (畑山, 2018)。いずれの種もよく似ているが、その中では、本州、四国、伊豆諸島 (御蔵島) に分布するキンケヒメフトコメツキダシ *B. pilosellus* Hisamatsu, 1959 に形態が似ている。しかし、ムナビロヒメフトコメツキダシは、前胸背板がより強壯で、その外縁は中央部で強く外側に広がることや、前胸背板の点刻がより密であるなどの特徴を備えることにより、キンケヒメフトコメツキダシとは容易に識別することができる。また、他の日本産のヒメフトコメツキダシとは、1) 背面は黄色の毛で密に被われる。2) 頭盾の縦隆線を欠く。3) 触角は雌雄共に糸状で、雄でも鋸歯状とはならない。前胸背板は側縁中央部で強く広がる。4) 後胸前側板は平行。5) 腹部第5節は先端に向かって狭くなり、

先端は鈍く尖る。6) 雄交尾器は、内側の二次側片は著しく細く、棒状で、基片は交尾器全長の1/5.5以下ときわめて小さい、などの特徴を組み合わせることにより、識別することができる。

備考

標本に付けられたラベルに記載されたデータから、これらの標本は、故衣笠恵士博士が奄美大島で材を採取して持ち帰り、ご自宅のある浦和市で羽化させたものと考えられ、後に博士と深く親交のあった故江本健一氏の手元に渡ったものと思われる。樹種や材の状態については、残念ながらラベルに記載がなく、その詳細については不明である。

引用文献

- 畑山武一郎, 2018. 日本産コメツキダシ科概説 1. 日本産コメツキダシ科全リストおよびチャイロコメツキダシ族までの検索表. KORASANA, (88): 221-228+pls. 1-2.
- Hisamatsu, S., 1959. Notes on Japanese *Bioxylus* (Coleoptera, Eucnemidae). Transactions of the Shikoku Entomological Society, 6: 23-30.
- Hisamatsu, S., 1963. Six new species of Eucnemidae from Japan (Coleoptera). Transactions of the Shikoku Entomological Society, 8 (1): 26-34.
- 久松定成, 1985. コメツキダシ科. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑 (III): 42-51 (pls. 8-9). 保育社, 大阪.
- 久松定成, 1989. コメツキダシ科. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター・共同編集. 日本産昆虫総目録 I: 346-348. 九州大学農学部昆虫学研究室. 福岡.
- 鈴木 茂, 2020. 日本列島の甲虫全種目録 (2020 年). URL <https://japanesebeetles.jimdofree.com/> 目録 /46- コメツキダシ科 / (2020 年 3 月 29 日アクセス).
- 鈴木 互, 2016. 奄美大島で採集された興味深いコメツキダシ 4 種. さやばねニューシリーズ, (6): 7-12.

(2020 年 4 月 11 日受領, 2020 年 5 月 5 日受理)